

小倉南区

オレンジカフェ ひだまり

オレンジ・カフェとは？
「認知症」のことで一人で悩んでばかりするのではなく、気軽にふらりと立ち寄って、認知症の事を話し合ってみよう、そんな想いを伝える場所です。

「ひだまり」で大切にしている事
・楽しいを弾く人生のサポート
・共生社会の居場所、認知症を予防
・お互い支え合い、助け合う、助け合う、繋がる存在
・裕年を前向きに捉え、上手に楽しく
年をとる (smart agame)



玄関前のオレンジ色ののぼり旗と【BUNKO】の看板が目印です



季節を感じる創作
(クリスマスリース)



おいしいコーヒーとお菓子の提供

【会場】

カフェ BUNKO(レンタルスペース)
(小倉南区長行西2-2-10)

【開催日時等】

毎月第1月曜日
10時 ~ 12時

【利用料金】

400円/回

【参加申込】

不要
どなたでも参加可能です

【お問い合わせ】

おきの はじめ
小木野 一

TEL 093-451-1695 (自宅)

【カフェからのひとこと】

誰もが安心して出会い、触れ合い、話し合いのできる空間(居場所づくり)を目指しており、音楽やゲーム、健康体操、学習などを通して、スタッフと参加者が協調し認知症の予防を図ります。

【認知症地域支援推進員からのひとこと】

外観は普通の一軒家ですが、中はカフェやレンタルスペース用としてリノベーションされ、とてもお洒落です。カフェ会場は段差もなく歩きやすい環境で、大きな窓から降り注ぐ陽の光は居心地も良く、穏やかに過ごせる空間になっています。地域の方の触れ合いやつながりの場として、また認知症や介護予防を学ぶ場として、充実した時間を過ごすことができそうです。

小倉南区

オレンジカフェ 志井

**介護予防体操教室
ころばん塾**

日時：毎週木曜日 10:30～11:30
場所：オレンジカフェ志井（志井小学校前）
（楽々サービス コミュニティスペース内）
対象：50歳以上の方
参加費：1回 500円 テケット制
持ち物：汗拭きタオル 飲み物 上履き
筆記用具 動きやすい服装

お問合せ 住所：小倉南区志井6丁目2番5号
TEL：093-963-9900 担当 岩井 茂

※参加費は、参加は必須に必ずお申し込みをお願いします。
※参加時には、防疫検温チェック表をさせていただきます。
※必ずマスク着用の上、ご参加ください。

ころばん塾では
運動やコミュニケーションを行うことで認知症・フレイルを予防を行います。

1. 認知症予防体操
2. 認知症予防ゲーム
3. 認知症予防クイズ
4. 認知症予防お楽しみ会
5. 認知症予防お楽しみ会

※参加費は、参加は必須に必ずお申し込みをお願いします。
※参加時には、防疫検温チェック表をさせていただきます。
※必ずマスク着用の上、ご参加ください。



カフェ参加者は専用
入口を利用(手洗い・
消毒スペースあり)

【会場】

楽々サービスコミュニティスペース
（小規模多機能C A F E未来）
（小倉南区志井6-2-5）

【開催日時等】

毎週金曜日
10時30分～11時30分

【利用料金】

500円/回

【参加申込】

不要（事前登録制）
50歳以上
どなたでも参加可能です



適度な運動と交流で
認知症・フレイルを
予防します



【お問い合わせ】

楽々サービス オレンジカフェ志井
TEL 093-963-9900

【カフェからのひとこと】

「動けば動くほど、ココロもカラダも元気モリモリ！」元気の素は「運動」「コミュニケーション」。週に1回はみんなで体を動かし脳を活性化。笑って汗をかいて楽しい時間をご一緒に！介護予防教室「ころばん塾」では、理学療法士等による体操教室を開催中です。

【認知症地域支援推進員からのひとこと】

感染症対策を施した会場は、参加者の方々の体を動かす場、地域の方との交流の場となり、和やかな時間が流れています。専門職がカフェの担当をしているので、健康相談等も気軽にできる環境が整っていて安心です。

小倉南区

あそこのカフェ



徳力団地内の商店街の一角で開催



会場入口で体温測定・手指消毒



受付ではパンダの「春春(はるはる)」がお出迎え



【会場】

暮らしの保健室 in 小倉
(小倉南区徳力団地 2-2-31-10)

【開催日時等】

毎月第4土曜日
13時30分～15時30分
(場合により変更あり)

【利用料金】

実費相当
(材料に係る料金により異なる)

【参加申込】

必要 (感染症対策のため人数制限あり)
どなたでも参加可能です

【お問い合わせ】

暮らしの保健室 in 小倉 事務局
Tel 093-383-0736

【カフェからのひとこと】

「ご近所さんネットワーク」のボランティアスタッフの方々と、福祉系大学生ボランティアによる企画運営を行っており、ボランティアスタッフは養成講座(認知症サポーター養成講座を含む)を受講した方々で構成しています。『認知症になっても安心して暮らせるまちづくり』を目指しています。

【認知症地域支援推進員からのひとこと】

「暮らしの保健室」は、認知症カフェ等の交流の場のほか、健康相談、ボランティアの育成など、多くの機能を持つスペースとして運営中です。
駐車場(有料)完備の商店街でお買い物ができる便利さと、開放感がある空間は居心地も良く、地域の方に親しまれています。運営スタッフの大学生ボランティアなど、多世代間の交流は、脳にも心地良い刺激を与えてくれそうです。